

指導案例

学習指導要領・単元の目標		
(1) 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。〔知識及び技能〕(2)イ		
(2) 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ		
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。(2)イ)	①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	①積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしている。

目指す子どもの姿（身に付けさせたい資質・能力）
○ 太宰治が「走れメロス」を通して伝えたかったことは何か。
○ 「走れメロス」の話の内容から一番大事だと感じたことは何か。
これらの課題に対し、自分なりに内容を解釈したことを自分の言葉でまとめられる力を身に付けさせたい。

子どもの実態・付けたい力・教材観等
課題立てや振り返りなどを10月ごろから繰り返し行い、学びのサイクルが出来上がってきたように感じる。読むことについても、自分から積極的に文章を読み、内容を自分の力で解釈しようとする姿がうかがえる。表現についても、プレゼンテーションやレポート形式によるパフォーマンステストを行うことで、自分なりの表現の仕方が身に付いている。
「走れメロス」は中学校時代に読む小説の中で、多くの人に親しまれる小説の一つである。太宰が織りなす文章は、メロスに、あるいは文章全体に様々な見え方を与える。シラーが著した「人質」をリライトし、太宰は何を伝えたかったのだろうか。そうした読み方を、子どもたち一人一人が体験することで、大人になったときの文学への親しみをより一層増すような活動にしたい。

次	1次			2次				3次		
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
学習活動 (学習内容) 一斉/複線	「走れメロス」を読んで諸毒の感想をまとめ、交流する。 状況設定や人物設定をまとめる。 シラーの「人質」を読み、太宰と読み比べ、共通点と相違点を整理する。			パフォーマンス課題 他の人に『走れメロス』を紹介するなら、あなたはどのような点を強く伝えたいですか。強く伝えたい部分を明らかにしながら、太宰治が読者に何を伝えたかったのか考え、スライドにまとめて交流しよう。					太宰治が「走れメロス」を通して伝えたいことをまとめ交流する。	
子どもの主体性を図る自己調整度合 (課題：課程：形態)	1：5：5			5：9：9					1：9：10	
子どもの姿	 メロス・セリヌティウス・ディオニスの人物像を整理する。 「走れメロス」から感じられることをまとめる。 シラー「人質」との共通点と相違点はどのようなところにあるか考える。			 作者との関わり 勇氣 諦めない力 友情 親愛 疑うこと 人間の弱さ 赤(情熱など) 信実 嘘をつかない メロスの行動から、人間がもつ前向きな心に向き合うことができる。 人を信じるメロスやセリヌティウス、疑うことしかできなくなったディオニスを通して、友情や信頼の仕方について向き合うことができる。 シラー「人質」との相違点がパフォーマンス課題のカギとなるだろう。  太宰という人物の心の不安定さを考え、「走れメロス」を描いた当時の太宰の心理的状況を基に、太宰が「走れメロス」に託した思いを読み取る。					 これまでに自分自身でまとめてきた内容を、他者と交流する。 ループリックを参考にしながら、課題に正対したスライドになっているか自己評価を行う。 交流した内容を踏まえて、自分のスライドを改善する。	
教師の指導・支援・評価	・指導内容については、学習者が後で見返すことができるように Google Classroom に添付する。 ○3人の登場人物について整理し、どのような関係にあるか理解している。[知・技] ①			・パフォーマンス課題に対して、自分がスライドにまとめるテーマを決める際には、グループで活動することも可能とするよう、どの子どもがどのような課題に取り組んでいるかわかるようにする。 ・子どもの進捗状況を、見通しと振り返りを行い適宜把握する。 ○内容の解釈においては、登場人物の言動を基に解釈を行い、考えをまとめることができている。[思・判・表] ① ○スライドを作成する際には、様々な視点から登場人物の言動を考えた上で、粘り強く考えることができている。[主体性] ①					・パフォーマンス課題とループリック評価を一体的に考え、付けたい力に向かっているか、教師側からのフィードバックを適宜行う。 ○自分の言葉で解釈した内容をまとめ、交流することができている。[思・判・表] ① ○積極的に課題について考えたことを交流することができている。[主体性] ①	